

# 大学学生数 女性の割合増加が続く

～ 平成24年度学校基本調査速報結果 ～

平成24年度学校基本調査の速報結果が文部科学省から8月に公表されましたので、今号では福岡市の概況を紹介します。

## 1. 学校基本調査の概要

学校基本調査は、学校教育法に規定する学校(脚注)と市町村教育委員会を対象に、学校に関する基本的事項(学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等)を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、昭和23年度から毎年5月1日現在で実施されています。

速報結果では、政令指定都市の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学及び短期大学に関する数値が公表されました。

## 2. 初等中等教育機関の概要

### (1) 幼稚園の概況

#### 園児数は2年連続の増加

幼稚園は127園で前年度(平成23年度)から1園減少し、園児数は21,117人で740人増加しています。近年減少傾向にありましたが、前年度に引き続いたの増加となりました。

教員数は1,356人で29人増加し、教員1人当たり園児数は15.6人となっています。(表1)

### (2) 小学校の概況

#### 教員数の増加続く

小学校も前年度(平成23年度)から1校減少し、149校となりました。

表1 幼稚園の概況

区分	園数	園児数						教員数(本務者)			教員1人当たり園児数
		計	男	女	3歳	4歳	5歳	計	男	女	
平成20年度	128	20 059	10 245	9 814	5 519	7 248	7 292	1 293	103	1 190	15.5
21年度	128	19 669	10 011	9 658	5 331	7 013	7 325	1 305	102	1 203	15.1
22年度	128	19 613	9 909	9 704	5 754	6 799	7 060	1 300	94	1 206	15.1
23年度	128	20 377	10 338	10 039	6 306	7 131	6 940	1 327	102	1 225	15.4
平成24年度	127	21 117	10 729	10 388	6 333	7 510	7 274	1 356	107	1 249	15.6

表2 小学校の概況

区分	学校数	学級数	児童数									教員数(本務者)			教員1人当たり児童数
			児童数			児童数						教員数(本務者)			
			計	男	女	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	男	女	
平成20年度	150	2 590	77 215	39 335	37 880	13 168	12 858	12 717	12 951	12 831	12 690	3 657	1 358	2 299	21.1
21年度	150	2 617	77 398	39 476	37 922	12 822	13 168	12 848	12 725	12 994	12 841	3 698	1 375	2 323	20.9
22年度	150	2 682	77 567	39 569	37 998	12 833	12 883	13 194	12 856	12 788	13 013	3 823	1 397	2 426	20.3
23年度	150	2 700	77 517	39 553	37 964	12 666	12 884	12 933	13 281	12 909	12 844	3 912	1 431	2 481	19.8
平成24年度	149	2 714	77 326	39 476	37 850	12 482	12 692	12 914	12 957	13 303	12 978	3 937	1 456	2 481	19.6
東区	29	575	16 382	8 365	8 017	2 711	2 714	2 777	2 734	2 788	2 658	822	...	...	19.9
博多区	18	301	8 235	4 320	3 915	1 334	1 375	1 315	1 432	1 411	1 368	456	...	...	18.1
中央区	16	265	7 523	3 527	3 996	1 189	1 222	1 248	1 252	1 304	1 308	402	...	...	18.7
南区	26	474	13 639	7 084	6 555	2 123	2 269	2 189	2 310	2 395	2 353	672	...	...	20.3
城南区	11	219	6 357	3 302	3 055	1 060	983	1 084	1 029	1 145	1 056	314	...	...	20.2
早良区	26	457	13 228	6 749	6 479	2 148	2 160	2 266	2 210	2 237	2 207	659	...	...	20.1
西区	23	423	11 962	6 129	5 833	1 917	1 969	2 035	1 990	2 023	2 028	612	...	...	19.5

注) 学校教育法に規定する学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校をいう。

児童数は77,326人で前年度に比べ191人減少しました。前年度に引き続いでの減少です。

教員数は3,937人で前年度に比べ25人増と増加を続けており、教員1人当たりの児童数は19.6人で、減少が続いています。

行政区別では、児童数は東区が16,382人で最も多く、城南区が6,357人と最も少なくなっていますが、平成24年5月1日現在の推計人口(以下「推計人口」といいます。)に占める割合では、早良区が6.2%で最も高く、次いで西区が6.1%となっており、博多区が3.8%で最も低くなっています。

(表2, 4)

### (3) 中学校の概況

#### 生徒数, 教員数ともに増加

中学校も前年度から1校減少し、82校となりました。

生徒数は39,508人で前年度に比べ115人増加しました。

教員数は2,409人で、前年度に比べ26人増加と、小学校と同様に増加が続いています。教員1人当たりの生徒数は16.4人となっています。

行政区別の生徒数では、東区の7,815人が最も多く、城南区の2,988人が最も少なくなっています。また、推計人口に占める割合では、早良区が3.3%で最も高く、次いで南区が2.9%となっており、博多区が1.8%で最も

低くなっています。(表3, 4)

### (4) 高等学校の概況

#### 公立校生徒数の割合が増加

高等学校数は前年度と同数の41校です。

生徒数は42,813人で前年度から25人減少しました。

教員数は2,462人で前年度と比べ18人増加しています。

設置者別に生徒数を見ると、生徒数に占める公立校生の割合が増加傾向にあり、今年度は前年度から0.4ポイント増加の45.8%となりました。

(表5, 図1)

## 3. 中学校及び高校卒業者の進路

### 大学進学者の割合が減少

中学校卒業者は12,998人で、前年度と比べ30人減少しており、その進路を見ると97.1%にあたる12,625人が高等学校等へ進学しています。(表6)

表4 小・中学校の対人口比  
(人, %)

区分	推計人口 (H24.5.1 現在)	小学生が 人口に占 める割合	中学生が 人口に占 める割合
福岡市	1 487 972	5.2	2.7
東区	297 056	5.5	2.6
博多区	218 039	3.8	1.8
中央区	184 083	4.1	2.8
南区	249 571	5.5	2.9
城南区	129 241	4.9	2.3
早良区	213 460	6.2	3.3
西区	196 522	6.1	2.8

表3 中学校の概況

(校, 学級, 人)

区分	学校数	学級数	生徒数						教員数(本務者)			教員1人当 たり生徒数
			計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	
平成20年度	83 (14)	1 150	38 924	19 415	19 509	13 025	13 245	12 654	2 288	1 320	968	17.0
21年度	83 (14)	1 190	39 229	19 692	19 537	12 945	13 007	13 277	2 299	1 320	979	17.1
22年度	83 (14)	1 188	39 097	19 602	19 495	13 100	12 967	13 030	2 336	1 349	987	16.7
23年度	83 (14)	1 202	39 393	19 768	19 625	13 272	13 130	12 991	2 383	1 363	1 020	16.5
平成24年度	82 (13)	1 213	39 508	19 753	19 755	13 065	13 297	13 146	2 409	1 361	1 048	16.4
東区	16 (1)	248	7 815	3 904	3 911	2 551	2 646	2 618	485	...	...	16.1
博多区	11 (2)	117	3 848	2 104	1 744	1 334	1 224	1 290	261	...	...	14.7
中央区	10 (5)	152	5 127	2 268	2 859	1 681	1 783	1 663	300	...	...	17.1
南区	14 (1)	220	7 158	3 565	3 593	2 353	2 448	2 357	427	...	...	16.8
城南区	6 (1)	92	2 988	1 482	1 506	1 001	1 000	987	179	...	...	16.7
早良区	11 (1)	204	7 010	3 529	3 481	2 327	2 327	2 356	392	...	...	17.9
西区	14 (2)	180	5 562	2 901	2 661	1 818	1 869	1 875	365	...	...	15.2

注) 学校数の( )内は国立または私立の学校数で内数

高等学校の卒業者は13,446人で前年度と比べ102人減少しており、うち大学等進学者が7,994人で昨年より237人減少しました。大学進学者の割合は59.5%で、前年度より1.3ポイントの減少です。近年増加を続けていましたが、一転しての減少となりました。また、就職者については、一時的な仕事に就いた者(臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者(アルバイト、パート等))を含めると1,599人で卒業者に占める割合は11.9%となっています。(表7)

#### 4. 大学及び短期大学の概況 大学学生数女性の割合増加が続く

図1 高校生徒数と公立校生の割合

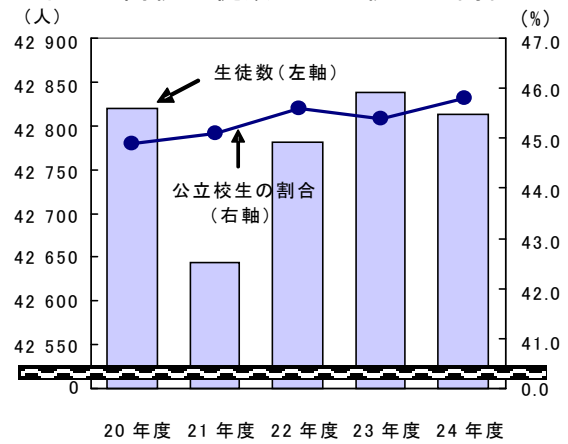


表5 高等学校の概況

区分	学校数				生徒数				教員数(本務者)		
	計	全日制	定時制	併置	計	本科		専攻科	計	全日制	定時制
						全日制	定時制				
平成20年度	41	39	1	1	42,819	41,486	1,152	181	2,407	2,319	88
21年度	41	39	1	1	42,644	41,312	1,160	172	2,407	2,322	85
22年度	41	39	1	1	42,782	41,464	1,164	154	2,445	2,357	88
23年度	41	39	1	1	42,838	41,537	1,176	125	2,444	2,354	90
平成24年度	41	39	1	1	42,813	41,541	1,148	124	2,462	2,372	90
公立	19	17	1	1	19,594	18,446	1,148	—	1,280	1,190	90
私立	22	22	—	—	23,219	23,095	—	124	1,182	1,182	—

注) 専攻科…高等学校を卒業した者等に対し、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置された科。例：看護科、介護福祉科等

表6 中学校卒業後の進路

区分	総数	高等学校等進学者	専修学校高等課程進学者	専修学校一般課程等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	その他の者	就職進学者、就職入学者(再掲)
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
平成20年3月卒	12,885	12,390 (96.2)	140 (1.1)	50 (0.4)	11 (0.1)	69 (0.5)	229 (1.8)	4 (0.0)
21年3月卒	12,666	12,258 (96.8)	95 (0.8)	32 (0.3)	6 (0.0)	77 (0.6)	205 (1.6)	7 (0.1)
22年3月卒	13,264	12,855 (96.9)	126 (0.9)	29 (0.2)	12 (0.1)	36 (0.3)	212 (1.6)	6 (0.0)
23年3月卒	13,028	12,663 (97.2)	108 (0.8)	49 (0.4)	8 (0.1)	44 (0.3)	158 (1.2)	2 (0.0)
平成24年3月卒	12,998	12,625 (97.1)	114 (0.9)	33 (0.3)	11 (0.1)	48 (0.4)	168 (1.3)	1 (0.0)

注1) 福岡県公表値。総数は「高等学校等進学者」～「その他の者」の合計から重複する「就職進学者、就職入学者」を差し引いた数。「就職進学者、就職入学者」は「高等学校進学者」～「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者。

2) 構成比は「総数」に対する割合で重複する「就職進学者、就職入学者」を含むため合計が100%を超える。

表7 高等学校卒業後の進路

区分	総数	大学等進学者	専修学校専門課程進学者	専修学校一般課程等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	一時的な仕事に就いた者	その他の者	就職進学者、就職入学者(再掲)							
										構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
平成20年3月卒	13,979	8,066 (57.7)	1,617 (11.6)	1,785 (12.8)	40 (0.3)	1,613 (11.5)	159 (1.1)	702 (5.0)	3 (0.0)							
21年3月卒	13,380	7,874 (58.8)	1,577 (11.8)	1,459 (10.9)	32 (0.2)	1,475 (11.0)	256 (1.9)	711 (5.3)	4 (0.0)							
22年3月卒	13,558	8,219 (60.6)	1,554 (11.5)	1,450 (10.7)	33 (0.2)	1,328 (9.8)	198 (1.5)	779 (5.7)	3 (0.0)							
23年3月卒	13,548	8,231 (60.8)	1,618 (11.9)	1,460 (10.8)	31 (0.2)	1,368 (10.1)	228 (1.7)	615 (4.5)	3 (0.0)							
平成24年3月卒	13,446	7,994 (59.5)	1,852 (13.8)	1,308 (9.7)	23 (0.2)	1,404 (10.4)	195 (1.5)	676 (5.0)	6 (0.0)							

注1) 福岡県公表値。総数は「大学等進学者」～「その他の者」の合計から重複する「就職進学者、就職入学者」を差し引いた数。

「就職進学者、就職入学者」は「高等学校進学者」～「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者。

2) 構成比は「総数」に対する割合で重複する「就職進学者、就職入学者」を含むため合計が100%を超える。

大学は11校で、前年度に比べ私立大学が1校減少しました。

大学院生を含む学生数は72,360人で前年度に比べ517人減少しています。男女別で見ると、男性は44,296人で696人減少し、女性は28,064人で179人増加し、女性の増加が続いています。構成比は男性が61.2%、女性が38.8%となり、女性の占める割合は増加を続けています。

大学院生は8,037人です。近年増加を続けていましたが、前年度に比べて198人減少となりました。

設置者別で学生数を見ると、国公立の学生は19,683人で前年度に比べ60人減少、私立の学生も、52,677人で前年度に比べ457人減少しました。

(表8、図2)

短期大学は前年度と同数の9校です。学生数は4,716人で前年度より132人減少しています。男女別で見ると、男性は513人で63人減少し、女性は4,203人で69人減少しています。(表9)

## 5. 大学及び短期大学入学者の出身地

入学者の約9割は九州・沖縄地方から福岡県内の大学及び短期大学への入学者を都道府県別出身高校所在地で見ると、入学者29,072人のうち福岡県内の高校からの入学者は16,602人(構成比57.1%)となっています。県外からの入学者を見ると、最も多いのは福岡県以外の九州・沖縄地方からの8,165人(同28.1%)で、次いで中国地方からの1,921人(同6.6%)です。それ以外の地方からの入学者は2,384人(同

図2 大学学生数と女性学生数の割合

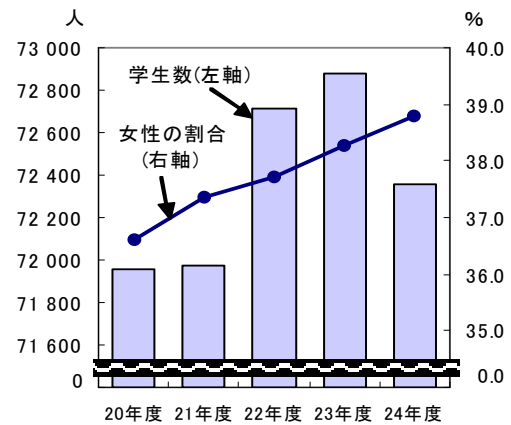


表8 大学の概況

区分	大学数				学生数						(校, 人)
	計	国立	公立	私立	計	男	女	国立	公立	私立	教員数 (本務者)
平成20年度	11	1	1	9	71 957 (7 903)	45 605 (5 556)	26 352 (2 347)	18 459	872	52 626	4 926
21年度	11	1	1	9	71 971 (7 987)	45 077 (5 615)	26 894 (2 372)	18 624	872	52 475	4 924
22年度	11	1	1	9	72 717 (8 132)	45 291 (5 712)	27 426 (2 420)	18 791	855	53 071	4 936
23年度	12	1	1	10	72 877 (8 235)	44 992 (5 732)	27 885 (2 503)	18 828	915	53 134	5 149
平成24年度	11	1	1	9	72 360 (8 037)	44 296 (5 597)	28 064 (2 440)	18 720	963	52 677	5 178

注1) 「学校数」及び「教員数(本務者)」については、大学本部の所在地による。

2) 「学生数」については、在籍する学部・研究科等の所在地による。

なお、大学学生数には学部のほか大学院、専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含む。

3) ( )内は大学院生数で内数。

表9 短期大学の概況

区分	短期大学数			学生数					(校, 人)
	計	国立	私立	計	男	女	国立	私立	教員数 (本務者)
平成20年度	9	—	9	4 804	449	4 355	—	4 804	306
21年度	8	—	8	4 680	453	4 227	—	4 680	265
22年度	9	—	9	4 866	528	4 338	—	4 866	280
23年度	9	—	9	4 848	576	4 272	—	4 848	273
平成24年度	9	—	9	4 716	513	4 203	—	4 716	274

注1) 「学校数」及び「教員数(本務者)」については、短期大学本部の所在地による。

2) 「学生数」については、在籍する学科等の所在地による。

なお、学生数には本科学士のほか専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含む。

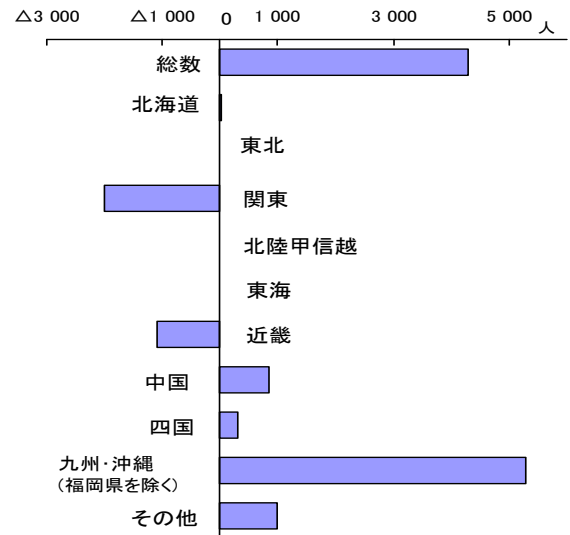
8.2%) となっています。

一方、福岡県内の高校から福岡県以外の大学及び短期大学への入学者は8,174人(構成比33.0%)となっています。入学先で最も多いのは福岡県以外の九州・沖縄地方の2,886人(同11.6%)、次いで関東地方が2,218人(同9.0%)、以下、近畿地方が1,563人(同6.3%)、中国地方が1,063人(同4.3%)と続いています。

流入・流出状況は4,296人の流入超過となっていますが、地方別にみると福岡県以外の九州・沖縄地方が5,279人の流入超過となっている一方で、関東地方は1,996人の流出超過となっています。(表10、図3)

21大都市の大学及び短期大学の概況を比較すると、福岡市の学校数は、東京都区部、京都市、神戸市、名古屋市に次いで5番目(札幌市と同数)に

図3 地方別流入超過数



## 6. 大都市の大学及び短期大学 学生の割合は大都市中、第3位

表10 大学及び短期大学入学者の出身高校所在地

区分	福岡県内の 大学・短期大学 への入学者		福岡県内 高校出身者 の入学者		流入超過数 (人, %)
	人数	構成比	人数	構成比	
総数	29,072	(100.0)	24,776	(100.0)	4,296
北海道地方 (北海道)	88	(0.3)	70	(0.3)	18
東北地方 (青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島)	30	(0.1)	37	(0.1)	△7
関東地方 (茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川)	222	(0.8)	2,218	(9.0)	△1,996
北陸甲信越地方 (新潟, 富山, 石川, 福井, 山梨, 長野)	63	(0.2)	69	(0.3)	△6
東海地方 (岐阜, 静岡, 愛知, 三重)	160	(0.6)	183	(0.7)	△23
近畿地方 (滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山)	458	(1.6)	1,563	(6.3)	△1,105
中国地方 (鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口)	1,921	(6.6)	1,063	(4.3)	858
四国地方 (徳島, 香川, 愛媛, 高知)	375	(1.3)	85	(0.3)	290
九州・沖縄地方 (福岡県以外) (佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄)	8,165	(28.1)	2,886	(11.6)	5,279
その他	988	(3.4)	—	—	988
福岡県内進学	16,602	(57.1)	16,602	(67.0)	—

注1) 入学者数には、5月1日現在在籍しない者は含まない。

注2) 大学の所在地は、入学した学部の所在地による。短期大学の所在地は、入学した学科の所在地による。

注3) 「その他」とは、「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」、「専修学校高等課程を修了した者」及び「高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者」等である。(学校教育法施行規則第150条)

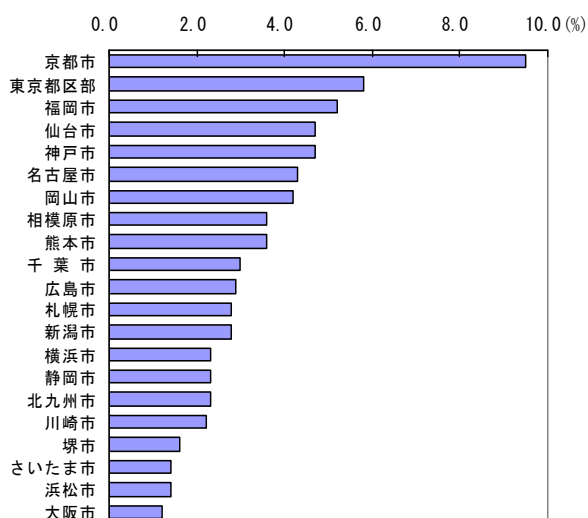
多く、学生数は、東京都区部、京都市、名古屋市、横浜市に次いで5番目に多い都市になっています。

各都市の推計人口に占める学生数の割合を見ると、京都市が9.5%で最も高く、次いで東京都区部が5.8%、福岡市は5.2%で前年度と同じく第3位

となっています。以下、仙台市、神戸市の4.7%と続きますが、福岡市は「学生の多い都市」と言えることが分かります。(表11、図4)



図4 大都市の人口に占める学生の割合



学校基本調査の公表結果は、下記のホームページでご覧いただけます。

なお、12月頃に文部科学省から確報が公表される予定です。

□文部科学省

<http://www.mext.go.jp/>  
から統計情報を選択

□福岡県調査統計課 (ふくおかデータウェブ)

<http://www.toukei.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/>  
からサーチ>3.くらす(県民生活)を選択

表11 大都市の大学及び短期大学の概況

区分	学校数			学生数			推計人口 (平成24年 5月1日現在)	人口に占める学生数の割合
	計	大学	短期大学	計	大学	短期大学		
札幌市	20	13	7	54 440	51 472	2 968	1 926 810	2.8
仙台市	13	10	3	49 364	48 287	1 077	1 055 770	4.7
さいたま市	6	4	2	17 091	16 457	634	1 233 235	1.4
千葉市	12	9	3	29 210	27 951	1 259	963 047	3.0
東京都区部	126	94	32	519 092	503 801	15 291	8 997 770	5.8
横浜市	18	13	5	84 341	82 606	1 735	3 696 419	2.3
川崎市	8	5	3	31 390	30 239	1 151	1 436 368	2.2
相模原市	4	2	2	25 580	24 586	994	719 611	3.6
新潟市	12	7	5	22 963	21 575	1 388	811 540	2.8
静岡市	8	4	4	16 394	14 240	2 154	713 009	2.3
浜松市	7	6	1	11 326	11 015	311	797 395	1.4
名古屋市	23	16	7	98 153	95 328	2 825	2 267 048	4.3
京都市	38	26	12	139 500	136 044	3 456	1 473 656	9.5
大阪市	19	11	8	32 404	28 152	4 252	2 674 906	1.2
堺市	10	7	3	13 345	12 555	790	842 879	1.6
神戸市	24	20	4	72 555	70 808	1 747	1 544 120	4.7
岡山市	11	8	3	29 991	28 520	1 471	712 190	4.2
広島市	18	13	5	33 889	31 687	2 202	1 179 253	2.9
北九州市	13	9	4	22 828	21 306	1 522	972 328	2.3
<b>福岡市</b>	<b>20</b>	<b>11</b>	<b>9</b>	<b>77 076</b>	<b>72 360</b>	<b>4 716</b>	<b>1 487 972</b>	<b>5.2</b>
熊本市	8	7	1	26 666	26 044	622	737 001	3.6